

## 重点施策 9 地域ぐるみで取り組む青少年補導の充実強化

### 【施策方針】

情報化・国際化・少子化・家庭教育の弱体化等、激動する社会の変化に伴い、人と人との連帯意識の希薄化・コミュニケーション不足、価値観の多様化により、子どもたちを取り巻く環境は年々深刻化している。

こうした状況のもと、次世代を担う青少年の健全育成を推進するため、明るい対話のある家庭づくりと、楽しい魅力ある学校づくりを推進し、青少年をめぐる環境点検と有害環境の浄化、(特にネット犯罪防止)に努めるとともに、青少年センターが中心になり、学校・警察・関係団体と情報交換を緊密にして、補導活動を行う。

### 【実施状況】

#### (1) 主な施策・事業

- ① 急増するネット犯罪への研修を深め、補導活動・相談活動の充実に努める
- ② 環境浄化活動・防犯相談所活動の充実に努める

#### (2) 施策・事業の実施状況

##### ① 補導活動・相談活動の充実

社会の変化に対応し携帯電話やパソコンのネット犯罪、喫煙、薬物乱用及びカラオケ、ゲームセンターに留意し実態把握に努めるとともに、不安定な心理の青少年に「愛の声かけ」を中心に、適切な助言アドバイスを行いながら支援・援助活動を行った。

市内 12 小学校区に 12 支部を擁する補導員会では、199 名の会員が地区補導・中央補導・特別補導など、168 回の補導活動に延べ 921 人の補導員が参加した。

また、青少年や保護者による悩みごとの相談はなかったが、「学校警察連絡協議会(学警連)」等において、学校とも連携し適切な対応を心がけるとともに、必要な助言や指導援助を行い問題解決にあたった。

##### ② 環境浄化活動・防犯相談諸活動の充実

青少年のためのより良い環境づくり、地域ぐるみの点検、実態調査などの活動を促進し、不良・有害環境の整備、浄化を図った。

「学校警察連絡協議会(学警連)」と防犯協会等が連携し、市内全域に 31 の防犯相談所を設置し、悩みをかかえる子どもたちの発見と支援に取り組む相談活動を展開している。青少年センターは、来所または電話による相談に応じる。

### 【事務事業点検評価委員意見】

- 八幡浜市は、県下の他市町と比べ青少年の問題行動が少なく、子どもたちの生活態度が安定していることを実感している。この要因は、市内の小・中・高の教育活動が正常に実践されているためである。さらに、子どもたちが伸び伸びと健やかに育つ市全体の雰囲気を支えているのが、「愛の声かけ」を中心に適切な助言アドバイスをを行いながら支援・援助活動をしていただいている、青少年センターを拠点とした補導員会の地道で熱心な活動がある。
- 青少年の健全育成のため、学校警察連絡協議会と補導員会・防犯協会・警察等が良好に連携しながら、今後とも補導や相談等の活動、さらに急増するネット犯罪への対応等に取り組まれ、より良い環境づくりに努めていただきたい。
- 児童生徒数、学校数の減少で補導員の確保や校区の広がり等の問題が、大きな課題となるのではないかと心配している。現在の補導員会の活動の継続・発展をお願いしたい。

### 【自己評価】

- 八幡浜市青少年補導員会活動方針に基づき、奉仕の精神をベースにした青少年の健全育成並びに非行防止活動に補導員の方々が取り組んでいけるよう、今後も、青少年センターの「情報収集センター」としての機能の充実に力を注いでいきたい。
- 28年度は、児童自立支援施設「長崎県立開成学園」に視察研修に出向いた。今後も、県外の様々な施設見学や補導活動の状況などについての研鑽を深める視察研修を継続していきたい。また、「ネット犯罪の現状や対策」については、八幡浜警察署など関係機関との連携を深めながら、補導員会研修部を中心とした研修に取り組むなど、補導員の更なる資質向上に取り組んでいきたい。  
また、今後も学校・補導員会・防犯協会・警察署生活安全課などとの連携を一層密にしながら、情報の収集など、より良い環境づくりに努力したい。
- 現在、一般補導員及び教職員補導員を含めて、約200名の方に補導活動に尽力いただいている。今後も青少年の健全育成・非行防止という原点を大切にしながら、活動の継続・発展を目指していきたい。ただし、学校統合の状況などを総合的に勘案したうえで、補導員の人数や地区など今後の方向性を考える必要があると考えている。青少年補導員会本部役員会及び地区長会で協議を深めながら、今後も検討していきたい。